

第70回 埼玉大学脳科学セミナー

主催: 埼玉大学脳末梢科学研究センター

オルガノイド培養法を用いた 消化管および味細胞の機能解析

岩槻 健 先生

東京農業大学 食品安全健康学科 准教授

日時: 2016年10月27日 (木) 16:00~ 17:00

場所: 理学部3号館 11番教室

健康維持における消化管の重要性が社会的にも大きな注目を集めているが、解析に用いられる *in vitro* 実験系が限られているため、その機能研究は進んでいるとは言えない。最近になって新しい消化管上皮細胞の三次元培養法(オルガノイド培養法)が開発され、これまでの *in vitro* 実験系ではできなかった消化管細胞の機能解析が可能となった。

本セミナーでは、1)最近得られた消化管幹細胞情報とその後の新しい幹細胞培養技術をもとに、これまで技術的に困難であった消化管幹細胞及び腸管上皮細胞培養系を概説したのち、2)種々の組織や動物種を用いたオルガノイド培養系の構築と、3)オルガノイド培養系を用いた消化管および味細胞の機能解析について紹介する。内胚葉由来の細胞を扱っている方はもちろん、組織の発生・分化に興味のある学生や研究者の方々と広く議論したい。

脳末梢科学研究センターは定期的に脳科学セミナーを開催しています。誰でも自由に参加出来るセミナーですので、奮ってご参加下さい。詳しくはHPをご覧ください。<http://subsi.saitama-u.ac.jp/>

問合せ: 理工学研究科生体制御コース 坂田一郎 内線4983